

平成22年度事業報告

近年、少子化、高度情報化などの社会状況の変化は加速の度を強めており、社会全体の価値観や意識も変化し続けています。その中で、児童虐待、不登校、凶悪な少年事件の発生、ニートの問題、また、インターネットなどにより青少年が被害者になる事件など、青少年に関する課題が山積しています。

そのため、地域で活躍する県民運動推進委員、また、各市町村民会議等と協働しながら各種事業を推進してまいりました。

さらに、核家族化の拡大による育児不安を少しでも払拭できるよう幼児期の子育てを支援するとともに、青少年の国際的視野向上を促進するため、海外派遣などに取り組みました。

また、青少年自身を含めた各世代が青少年の健全育成に一丸となって循環型システム構築に取り組み、そこで育った青少年が地域の様々な催し等に参加し、地域とのつながりを深めながら地域づくりに関わっていくためのリーダー活動を支援してまいりました。

なお、既存事業についても、「少年メッセージ2010」、「家庭の日」関連事業などを更に充実させ、次代を担う青少年をすこやかに育成するため、青少年育成県民運動を積極的に推進しました。

1 「地域の育给力」の強化と推進体制づくり

(1) 地域推進体制強化事業

地域社会の大人の一人ひとりが、青少年の育成に関心を持ち、青少年と交流を深め、青少年を見守り育てていく「地域の育给力」の強化と体制づくりを推進しました。

① 市町村民会議等との連携

各市町村民会議等が抱える課題や問題点に対する共通認識を深め、今後の健全育成の取組について意見交換するため、代表者並びに青少年育成県民運動推進委員との合同会議を開催するとともに、各市町村を訪問し、意見交換や情報収集等を行うことによるネットワークづくりを推進し、協会事業の円滑な推進と育成活動の充実を図りました。

また、各市町村民会議等との連携を更に強化するため、事務局等との担当者会を開催しました。

【市町村民会議等代表者および青少年育成県民運動推進委員合同会議】

開催日	場所	対象者	参加人数	内容
○和歌山市 平成23年1月26日(水)	和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	左記開催日記載 地方の市町村民 会議等の代表 者、青少年育成 県民運動推進委 員およびその事 務局等	13名	◎平成22年度事業経過報告 ◎平成23年度事業計画(案)説明
○海草地方・那賀地方 平成23年2月1日(火)	和歌山ビッグ愛 (和歌山市)		20名	◎当協会から各団体への支援に よる事業(経過)報告
○伊都地方 平成23年1月24日(月)	伊都振興局 (橋本市)		18名	◎各市町村の取り組み状況 ◎意見交換 など
○有田地方 平成23年2月2日(水)	きびドーム (有田川町)		17名	

○日高地方 平成23年2月4日(金)	御坊保健所別館 (御坊市)	同 上	17名	同 上
○西牟婁地方 平成23年2月9日(水)	西牟婁振興局 (田辺市)		20名	
○東牟婁地方 平成23年2月10日(木)	東牟婁振興局 (新宮市)		16名	

【各市町村民会議等事務局担当者会議】

各市町村民会議等事務局との連携を更に強化するため、平成22年4月から5月にかけて、県内8地方で順次開催しました。

② 青少年育成県民運動推進委員の研修会開催

青少年育成県民運動推進委員の資質の向上を図るため、会議および研修会を実施しました。

【地方別青少年育成県民運動推進委員会の開催】

青少年育成県民運動推進委員の資質の向上を図るため、平成22年4月から5月にかけて、県内8地方で順次開催しました。

【青少年育成県民運動推進委員研修会】

期 日	会 場	参加数	内 容
平成22年5月23日(日) ～5月24日(月)	ホテルシーモア(白浜町)	100名	○青少年育成県民運動推進委員の役割 ○講演会「現代の子どもの理解と対応」 講師:橋本市教育相談センター 所長 木下忠恭 氏 ○分散会 ○全体会 他

【青少年育成県民運動推進委員全体会】

期 日	会 場	参加数	内 容
平成22年7月31日(土)	和歌山県民文化 会館(和歌山市)	35名	青少年育成県民運動推進委員の活動、地域での課題等の協議及び少年メッセージ県大会への参加

③ 青少年育成県民運動推進委員会の運営

各地域で県民運動を推進する青少年育成県民運動推進委員の連携を図るための推進委員会理事会の開催や、青少年育成県民運動推進委員相互の連携や資質向上を目的とした研修会などを実施しました。

(青少年育成推進委員会連絡協議会理事会)

第1回 平成22年4月23日(金) 和歌山ビッグ愛9階 会議室A

- ◎ 平成21年度事業報告案及び収支決算案並びに平成21年度収支決算監査報告について
- ◎ 平成22年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ◎ 青少年育成県民運動推進委員研修会の開催について
- ◎ 役員の変更について など

第2回 平成22年9月28日(火) 和歌山ビッグ愛9階 会議室C

- ◎ 平成22年度事業経過報告について
- ◎ 平成22年度青少年健全育成県民大会について など

第3回 平成23年3月3日(木) 和歌山ビッグ愛9階 会議室C

- ◎ 平成22年度事業経過報告について
- ◎ 平成23年度事業計画について
- ◎ 青少年育成指導者関係研修会の開催について など

④ 地方推進委員連絡協議会事業への助成

県内8地方の推進委員連絡協議会の活動および県民運動推進委員に活動費を助成し、地域における県民運動の展開、地域の育成力の強化を図りました。

対 象	補 助 額
青少年育成推進委員会連絡協議会活動事業補助	560千円
各地方青少年育成県民運動推進委員活動補助	335千円

(2) 県民運動推進事業

青少年育成県民運動のより一層の推進のため、各種啓発事業を実施し、青少年の健全育成に対する県民の理解が深まるように取り組みました。

① 青少年健全育成県民大会の開催（県共催事業）

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」において、家庭・地域・学校・職場・行政等が一体となった青少年育成県民運動の気運の高揚と県民の理解を促すため開催しました。

開 催 日	場 所	内 容
平成22年10月23日(土)	かつらぎ総合文化会館 (かつらぎ町)	◎(社)和歌山県青少年育成協会会長表彰授与 ・会長表彰 個人6名 ◎「家庭の日」絵画コンクール優秀作品表彰 ◎青少年健全育成巡回活動隊への知事メッセージ伝達 ◎高校生フォーラム テーマ:「青少年の地域への関わり」 コーディネーター:藤田直子氏 (海南市立南野上小学校校長) パネリスト:伊都地方7高校の代表者 ◎その他

② 「夏の子どもを守る運動」（7月1日～8月31日）の推進

夏場における青少年の非行防止や犯罪被害防止、水の事故等を防止するため、関係機関等と連携し、街頭啓発や児童に対する水難事故防止教室等を開催しました。

③ 青少年アドバイザー会に対する支援

青少年育成アドバイザー会活動を支援しました。

(3) 「少年メッセージ2010」和歌山県大会の開催

今を生きる中学生が何を考え、何を社会に対して訴えたいのか、また、これからどのようなことをしていきたいのかをテーマにした作文を募集し、子ども達が人生や社会について考えるきっかけを提供するとともに、地方予選などを通じて選ばれた18名による発表大会を開催しました。大会を通じ、中学生に対する大人の理解を深めるとともに、中学生の社会参加と意識啓発の促進を図りました。

開催日	会場	観客数	県内中学生	応募者数	応募率
平成22年7月31日(土)	和歌山県民文化会館 (和歌山市)	約450名	30,296名	12,771名	約42%

(県内中学生数は、平成22年度学校基本調査より)

(4) 少年メッセージ2010海外研修((財)和歌山県青年館記念事業)

今後の国際化社会に対応できるよう青少年の国際的視野向上を促進するため、中学生を海外へ派遣しました。

対象者：和歌山県大会上位8名(金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、特別賞2名)

研修日：平成23年3月24日から31日

研修場所：カナダ(バンクーバー、ビクトリア)

(5) リレー式次世代健全育成事業の実施(県委託事業)

青少年自身が地域の青少年を育成するリレー式次世代健全育成事業を通じて、次代を担う青少年育成の循環システムの構築に取り組み、地域における健全育成の体制づくりと育成力の強化を図りました。

開催場所	開催日		参加数		合計	年間合計
			小学生	中学生		
和歌山市 少年自然の家	前期	8.21.(土)~8.23.(月)	42	14	56	122
	後期	1.8.(土)~1.10.(月)	53	13	66	
紀北青少年の家	前期	8.11.(水)~8.13.(金)	64	30	94	94
	後期	中止				
白崎青少年の家	前期	8.16.(月)~8.18.(水)	56	32	88	88
	後期	中止				
潮岬青少年の家	前期	8.10.(火)~8.12.(木)	49	21	70	145
	後期	2.11.(金)~2.13.(日)	54	21	75	
合計	前期		211	97	308	449
	後期		107	34	141	
年間合計	前期+後期		318	131	449	

* 紀北青少年の家および白崎青少年の家の後期は、東日本大震災発生により中止

(6) 和歌山県ユースリーダーズクラブパステル運営

リレー式次世代健全育成事業等を通して、資質・能力等を研鑽し、会員相互の親睦を深めることを目的とし、次代を担う青少年を育成する。

- 平成23年1月5日(水)発足 12名(現会員数)

H. 23. 3. 31. 現在

市町村名	会員数
和歌山市	2名
海南市	2名
紀の川市	2名
橋本市	5名
白浜町	1名
合計	12名

2 青少年活動の推進と居場所づくり

(1) リーダー活動支援事業

リレー式次世代健全育成事業で育成した小学生や中学生が、各地域で活動できるよう支援を行いました。

5団体 250,817円

(2) 青少年団体活動支援事業

青少年団体活動の活性化のため、健全育成活動や集団活動を通じて資質の向上を図っている青少年団体が実施する様々な事業に対し補助金を交付しました。

3団体 800,000円

(3) 市町村民会議等支援事業

市町村民会議等が実施する青少年の健全育成にかかる事業を支援しました。

9団体 711,800円

(4) 青少年育成情報発信事業

各種の青少年団体や育成協会の情報を様々な媒体で効果的に発信することで、青少年活動への参加や交流のきっかけづくりに取り組みました。

① 協会ホームページの運営管理

協会ホームページを充実させ、協会事業をはじめ青少年の育成に関する有益な情報を多くの方に提供しました。

また、一定の要件を満たす青少年団体には、協会ホームページを団体紹介や情報発信の場として提供し、青少年団体のPRなどに貢献しました。

② メールマガジンの発行（新規事業）

協会会員や希望者を対象に、協会事業のお知らせや健全育成に関するメールマガジン(不定期)で発信し、様々な情報を提供しました。

(5) 「家庭の日」運動の推進事業

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族全員が家族のふれあいの大切さなど再認識する機会の提供を各種事業を実施することで行い、明るい家庭づくりの推進と絆づくりに取り組みました。

① 「家族そろって新入生」啓発リーフレットの作成（共同募金会助成事業）

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象として、家庭での教育やしつけに関することなどを中心に、保護者と子どもを応援するためのリーフレット13,000部を作成し、幼稚園、保育所等を通じて配布しました。

また、FM放送により、リーフレットの解説を6回にわたり放送をするとともに、その旨、県内すべての保育所、幼稚園を通じ、リーフレット配布対象の保護者に案内しました。

○ ラジオによる放送

- ・ FMマザーシップ FM88.9MHz
- ・ 解説：和歌山信愛女子短期大学 名誉教授 室みどり 氏
（「家族そろって新入生」制作委員）
- ・ 放送日時等

分野	放送日時	再放送日時
こころ(前半)	3月 7日(月)よる10時頃	3月10日(木)あさ10時頃
こころ(後半)	3月14日(月)よる10時頃	3月17日(木)あさ10時頃
からだ(前半)	3月21日(月)よる10時頃	3月24日(木)あさ10時頃
からだ(後半)	3月28日(月)よる10時頃	3月31日(木)あさ10時頃
まなび(前半)	4月 4日(月)よる10時頃	4月 7日(木)あさ10時頃
まなび(後半)	4月11日(月)よる10時頃	4月14日(木)あさ10時頃
放送のうちリクエストのあった のを2回分選択し、放送予定	4月18日(月)よる10時頃 4月25日(月)よる10時頃	4月21日(木)あさ10時頃 4月28日(木)あさ10時頃

② 家庭の日絵画作品募集事業

家族にまつわる絵画を募集し、作品に表現された「ふれあいとやすらぎ」のある家庭像をもって、家族や家庭の大切さについて改めて県民の理解を得るための啓発活動を行いました。また、優秀10点は、当協会カレンダーおよび当協会ホームページ等に掲載しました。

応募総数 566点

賞 ファミリー賞1名 ふれあい賞1名 やすらぎ賞1名 入賞7名

(6) 和太鼓体験教室

子どもたちに和太鼓という伝統文化に触れることを通じ、連帯感や責任感また達成感などを味わってもらい、次代を担う青少年育成を図りました。

① 16名

② 当協会通常総会および少年メッセージ2010和歌山県大会でのアトラクション

3 協会の体制と財政基盤の充実強化

青少年問題は大人社会の鏡であるという認識のもと、地域の大人一人ひとりが青少年を育成する自覚を持って青少年に模範を示し、地域における人と人とのつながりや地域社会と関わることの大切さを再認識できる地域づくりを推進しました。

また、各市町村民会議や各関係団体と協働して健全育成活動を推進することで、効果的に事業を実施し、青少年育成県民運動に取り組みました。

なお、当協会の設立趣旨に賛同していただける新規会員の加入促進を図り、財政基盤の充実を図るとともに、効率的な事業運営に努めました。

(参 考)

① 通常総会

平成22年6月12日(土) 和歌山ビッグ愛大ホール

- ◎ 平成21年度事業報告並びに収支決算報告について
- ◎ 平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- ◎ 役員を選任について
- ◎ 記念講演
 - ・テーマ 「子どもは地球のたから」
 - 講 師 小西博之 氏

② 理事会

第1回 平成22年5月19日(水)

和歌山ビッグ愛9階

- ◎ 平成21年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
- ◎ 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ◎ 役員を選任について
- ◎ ロゴマークの選定について など

第2回 平成22年10月13日(水) 和歌山ビッグ愛9階

- ◎ 平成22年度青少年健全育成県民大会について
- ◎ 青少年育成協会会長表彰の承認について
- ◎ 平成22年度事業経過報告について
- ◎ 基本財産の運用について など

第3回 平成23年3月14日(月) 和歌山ビッグ愛9階

- ◎ 平成22年度事業経過報告および収支補正予算(案)について
- ◎ 平成23年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ◎ 役員を選任方法について など

③ 会員数等

新規会員加入の促進を図り、財政基盤の充実に努めましたが、経済情勢を反映し、正会員・賛助会員ともに会費収入が減少しています。

(単位：円、%)

平成	正 会 員			賛 助 会 員	合 計	会 費 収 入		合 計
	個 人	団 体	計			正 会 員	賛 助 会 員	
15	493	149	642	212	854	1,477,000	2,170,000	3,647,000
20	378	123	501	230	731	1,251,000	2,150,000	3,401,000
21	382	122	504	202	706	1,264,000	2,040,000	3,304,000
22	391	122	513	184	697	1,290,000	1,950,000	3,240,000
増減	△102	△27	△129	△28	△157	△187,000	△220,000	△407,000
増減率	△20.7	△18.1	△20.1	△13.2	△18.4	△12.7	△10.1	△11.2

* 会員数は、各年度の3月31日現在

* 会費収入は、各年度の決算。ただし、平成22年度は、3月末日現在

* 増減・増減率は、平成15年と平成22年の比較

④ ロゴマークの作成

ア 応募数 204点

イ 採用したデザインのイメージ

無限の可能性を秘めた子どもたちの個性を若葉で表し、みんなが手を取り合ってそれを大きく育てていくようなイメージ。